



86. 1. 22

No. 2145

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

# 警視庁・本田警察署による不当弾圧介入 を徹底糾弾！

## 不当処分策動と連動した権力＝ 当局の組織破壊攻撃を許すな！

# 弾圧粉碎・公判闘争 の強化にむけ、 弁護団総会開かる

一月十二・十三日の両日、御宿町・木原荘において、動労千葉顧問弁護士八名、本部三役、各支部代表が出席して、動労千葉顧問弁護団総会が開催された。

動労千葉は、分離・独立以来七年有余、数多くの公判闘争を闘いぬいてきた。

中野公判については、昨年十二月二五日に判決が出された他、布施公判、サンケイ公判、組合費公判は結審となっており、裁判係争中の事件は、八一・三公判と、最高裁で争われている六・一二事件のみとなった。

# 処分攻撃を打ちきり、第二波へ万全の体制築く

しかし、昨年の十一月・二八・二九ストに関連してあらたに団結権侵害・損害賠償請求訴訟及び借金支払請求訴訟を動労千葉が提訴し、なお十一月・二八・二九ストに対する政治的・不当処分が近々に想定されるなど、あらたな公判闘争に対応する弁護団の強化が求められる情勢となっている。こうした情勢の下で弁護団総会が開催された。

会議は、各担当弁護士から公判の経過について報告をうけたあと、中野委員長から「国鉄情勢と動労千葉の闘いの決意」と題する講演が行われ、当面する闘いについて討論を行った。

去る一月十七日朝、警視庁・本田警察署は、昨年十一月・二九浅草橋事件の被疑事実と称して、動労千葉交渉委員である新小岩支部所属の磯辺哲夫氏に対し、自宅前で所持品捜索・身体捜索を行うという許しがたい暴挙を行った。氏が、団交に出席するために、当日朝九時十分ごろ自宅を出たところを、通勤路上の物かげにかくれていた三人づれの男が突如とり囲み、本人であることを確認した後、付近にとめてあった車の中に連れてゆき、「令状」を示した上で、氏の所持品を検索したのである。全く根拠のない捜索に抗議する磯辺氏のカバンを開け、当日使用する目的の団体交渉の資料等を約二十分間にわたって調べたあげく当然にも何の押収物もなく、非礼もわびず、「このことであまりさわがないようにして下さい。新小岩には血の気の多いのがたくさんいるから」などと、フザケタ捨てぜりふを残していったのである。動労千葉は、一月二十日、顧問弁護士の一瀬氏、水野法対部長、清水新小岩支部書記長を先頭に本田警察署に出向き、この権力の動労千葉組織攪乱・破壊を狙った違法・不当・デタラメ極まりない暴挙を徹底弾劾する抗議行動を展開すると共に、謝罪を求める「申入書」を叩きつけた。

### 動労千葉破壊を狙った フレームアップ弾圧を許すな

警視庁・本田警察署警備課刑事の吉田某らによるこの不当捜索行為は、単なるデッチあげであるにとどまらず、組合員を捜索することで、あたかも動労千葉が浅草橋事件と関係があるかのごとき印象を与え、もって動労千葉への介入・弾圧を策そうとする、全くもって悪質な意図の重大な組合活動に対する侵害行為である。

そもそも「氏名不詳の者」による現住建造物放火、火炎ビン取り締めり法違反等の容疑で令状をとり、磯辺氏にそれを執行する根拠など何一つないのだ。これでは、権力の予断と偏見により誰でもデッチあげられてしまう。フザケルナ！

### 権力の弾圧・介入を粉碎し、 第二波貫徹

全くデタラメであるがゆえに、われわれの抗議に対し、青ざめた顔で対応に出た警備課長は、

氏名も名のらず「いかなる根拠か」という追及に対しても当然の事ながら、全く答えることができず、「答える必要はない」と逃げの一手、あげくのはてには「話しは聞いたからすぐ帰れ。出て行かないと強制排除する」として居合わせたデカどもを総動員し、庁舎内から暴力的に排除するという暴挙を行ったのである。

まさに、この中に動労千葉の第一波のストライキにいかにか政府・権力がダメージを受けているかが如実に示されている。そして、それゆえにこそ、なりふりかまわず、凶暴な本質をむき出しに動労千葉の組織破壊を狙っている姿が明らかである。

われわれは、これに抗し、断固抗議の「申入書」を叩きつけてきた。

われわれは、この暴挙を断じて許さない。政府・当局・権力への怒りを倍化させ、いかなる弾圧・介入も許さない体制をガッチリと打ち固めると共に、第一波をも上まわる闘いで労働者の回答を示してやるうではないか。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！